

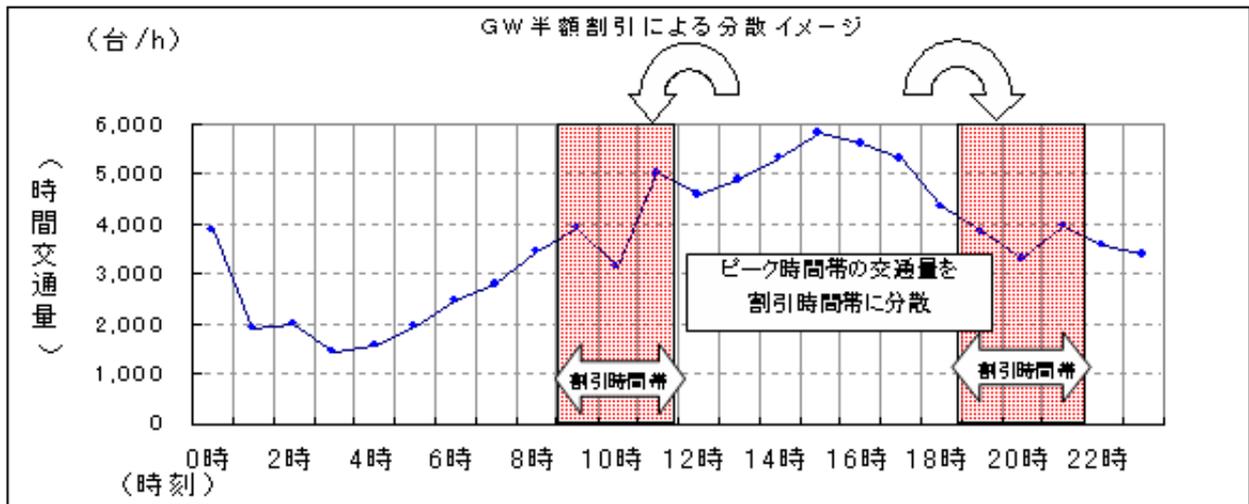
## 「GW半額割引」(料金TDM)の結果について

料金TDMにつきまして、4月4日に「GW半額割引」実施のお知らせを行い、今月7日には、ゴールデンウィーク時期の交通状況に併せ、一部結果の概況を速報として報告させていただきましたが、このたび、分析を加えた結果を取り纏めましたので報告します。

### 1. 料金TDMの概念

料金TDMとは交通量の少ない時間帯の通行料金を割引き、混雑する時間帯からシフトしていただくことにより、交通混雑の緩和を図ろうとするものであり、今回ゴールデンウィーク時期に東名・東名阪道で実施しました。

TDMとは、交通需要マネジメント(Traffic Demand Management)の略称です。



### 2. GW半額割引の概要

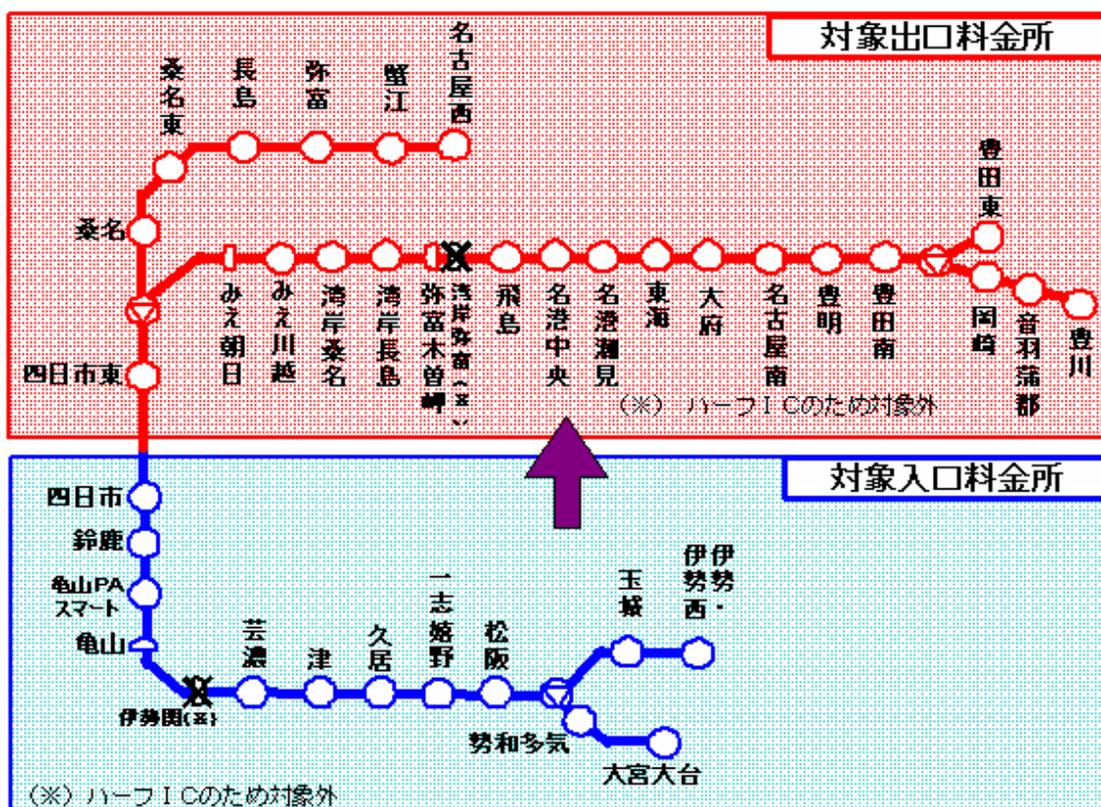
対象地区	対象期間	対象時間	対象料金所	割引率
東名高速道路 (上り線) 【大和トンネル付近】	4/26(土) ~5/6(火)	9時から12時まで 19時から22時まで	入口：静岡から厚木 出口：横浜町田から東京 小田原厚木道路(上り線) ：小田原・平塚・平塚東	50% 割引後の料金は、24捨25入により50円単位の端数処理を行います
東名阪自動車道 (上り線) 【四日市インターチェンジ付近】		11時から14時まで 19時から22時まで	入口：伊勢・大宮大台から 四日市 出口：四日市東から 名古屋西・豊田東・豊川	

## < 対象料金所 >

### 【東名高速道路】



### 【東名阪自動車道】



### 3. 結果速報

#### (1) 東名高速道路

2008年4月26日(土)から5月6日(火・祝)まで実施しました「東名GW半額割引」(料金TDM)の結果速報をお知らせします。

##### 1. 利用交通量の変化及び渋滞の変化(前年比較)

『東名GW半額割引』(料金TDM)を実施しましたが、海老名SA内混雑時のランプ滞留車両による本線への影響及び天候不良による交通容量の低下等により、昨年と比較し渋滞は増加いたしました。』

割引を実施した11日間において昨年同時期(2007年4月26日(木)から5月6日(日))と比較すると

日平均交通量は昨年に比較して、4.6%減少しました。

割引対象時間帯の交通量は昨年に比較して、4.4%減少しました。

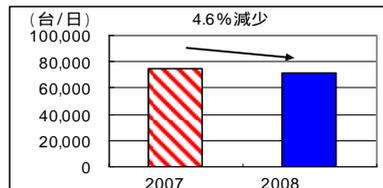
海老名SA付近を先頭とした渋滞の規模は、昨年に比較して14.0%増加しました。

海老名SA付近を先頭とした渋滞の最大時の延長は昨年に比較して1.6%減少しました。

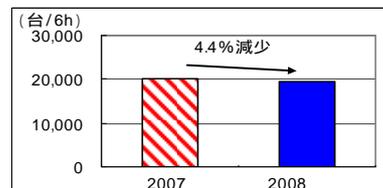
4月26日(土)～5月6日(日)

交通量

日平均交通量(台/日)

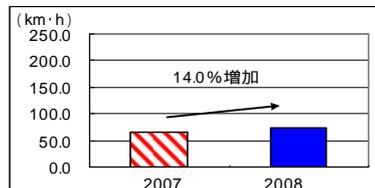


日平均割引対象時間帯累計交通量(台/6時間)

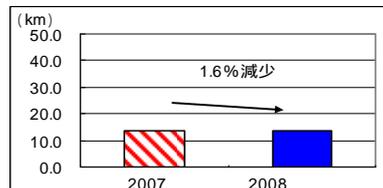


渋滞状況

日平均渋滞量(km・時間)



日平均最大渋滞長(km)

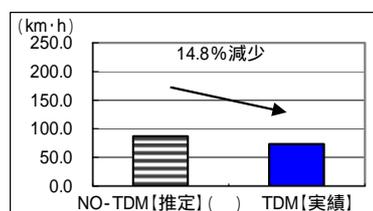


- 1: 交通量は横浜町田～厚木間の上り線断面交通量(車両検知器データ)
- 2: 割引対象時間帯は9時～12時及び19時～22時

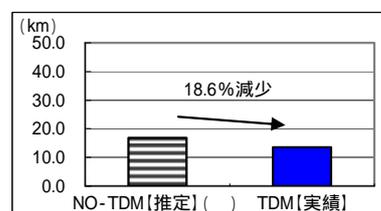
##### 2. 「東名GW半額割引」(料金TDM)の渋滞緩和効果(推定)

渋滞状況

日平均渋滞量(km・時間)



日平均最大渋滞長(km)



NO-TDM [推定]とは、仮にTDMを実施しなかった場合の推定値

アンケート調査結果を基に、料金TDMによる渋滞緩和効果を推定した結果、渋滞量は約15%、最大渋滞長は約19%減少しました。

アンケート調査結果によると、「東名GW半額割引」の認知度は約44%。うち割引対象時間に流入された方で、当初予定した時間帯から割引時間帯に利用時間を変更された方は約21%でした。

## (2) 東名阪自動車道

2008年4月26日(土)から5月6日(日)まで実施しました「東名阪道 GW 半額割引」(料金TDM)の結果速報をお知らせします。

### 1. 利用交通量及び渋滞状況の変化(前年比較)

『東名阪 GW 半額割引』(料金TDM)を実施しましたが、新名神開通による東名阪道の交通量増加の影響により、昨年と比較し渋滞は増加いたしました。』

割引を実施した11日間において昨年同時期(2007年4月26日(木)から5月6日(火))と比較すると

日平均交通量は昨年に比較して、17.8%増加しました。

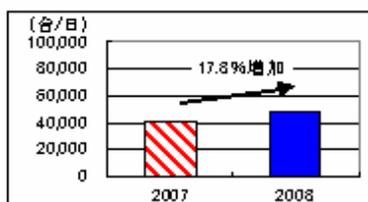
割引対象時間帯の交通量は昨年に比較して、15.4%増加しました。

四日市IC付近を先頭とした渋滞の規模は昨年に比較して20.2%増加しました。

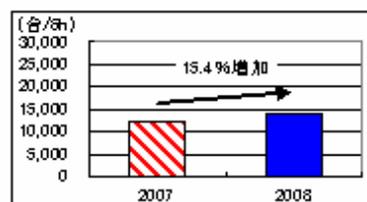
四日市IC付近を先頭とした渋滞の最大時の延長は昨年に比較して4.4%増加しました。

4月26日(土)～5月6日(火)

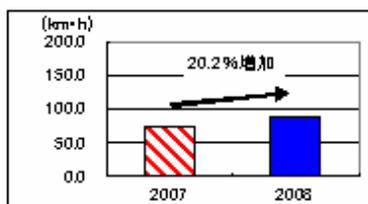
① 日平均交通量(台/日)



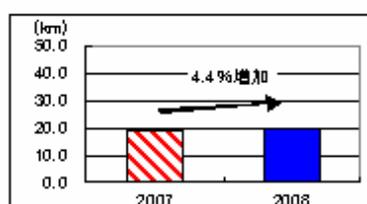
② 日平均割引対象時間帯累計交通量(台/6時間)



③ 日平均渋滞量(km・時間)



④ 日平均最大渋滞長(km)



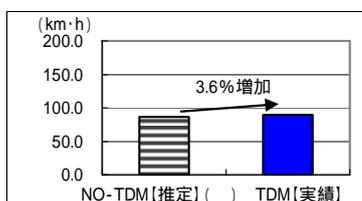
1: 交通量は四日市東～四日市間の上り線断面交通量(車両検知器データ)

2: 割引対象時間帯は11時～14時及び19時～22時

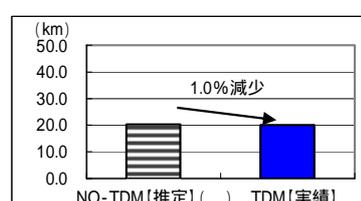
### 2. 「東名阪道 GW 割引」(料金TDM)の渋滞緩和効果(推定)

渋滞状況

日平均渋滞量(km・時間)



日平均最大渋滞長(km)



NO-TDM[推定]とは、仮にTDMを実施しなかった場合の推定値

アンケート調査結果を基に、料金TDMによる渋滞緩和効果を推定した結果、渋滞量は約4%の増加、最大渋滞長は約1%減少しました。これは新名神の開通により、想定以上の交通量が増加した日もあったため、TDMの効果があまり得られなかったものと思われます。

アンケート調査結果によると、「東名阪道 GW 半額割引」の認知度は約40%。うち割引対象時間に流入された方で、当初予定した時間帯から割引時間帯に利用時間を変更された方は約14%でした。